

# あいち農産物生産流通レポート

平成23年8月号

◎情報サロン		
・最近漬物を食べていますか？	(園芸農産課) .....	1
◎地域トピックス		
・完熟ミニトマト100%の 「ミニトマトケチャップ」はいかがですか	(海部農林水産事務所) .....	2
◎東日本情報		
・函館で平成22年度北海道地域秋冬野菜販売反省会開催	(東京事務所) .....	3
◎西日本情報		
・東日本大震災後の名古屋市中央卸売市場における 野菜の取扱実績について	(食育推進課) .....	5
◎フラワーページ		
・フラワードリーム2011で「愛知の花」の魅力をPR	(東京事務所) .....	7
◎青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) .....		9
・名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し .....		10
◎花 き		
・切花・鉢花の8月の見通し(県内市場) .....		22
◎輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年5月) .....		26
◎関連指数 .....		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ  
愛知県農林水産部食育推進課

(03)-5492-5400  
(052)-954-6417

## 最近漬物を食べていますか？

### 1 漬物の神様

愛知県あま市（旧甚目寺町）には、日本で唯一の漬物の神様（漬物祖神）を祀った萱津神社があります。古来海岸線が近く、藻塩（注1）と野菜を甕(かめ)に入れて神様に供えたところ、偶然漬物になったことから、漬物発祥の地とされています。

萱津神社では、毎年8月21日に香の物祭が行われ、甕に塩や野菜を漬け込む誰でも参加できる神事があります。そのため、毎月21日が漬物の日となっています。

### 2 愛知県の漬物

愛知県は、古くから野菜の栽培が盛んで、沢山の種類が作られており、伝統野菜（<http://www.pref.aichi.jp/engei/dentoyasai/index.html>）の宝庫となっています。その中でも世界一細長い守口大根やかりもり（白瓜の一種）は、今でも高級な奈良漬用に栽培されており、守口大根は愛知県で最も有名な漬物「守口漬」になります。

江戸時代からたくあんの生産が多かった愛知県では、戦後に工場で漬物が大量生産されるようになると、日本一の漬物生産を誇り、漬物王国愛知と言われました。現在では、生産額は5位となっていますが、漬物王国愛知は健在です。

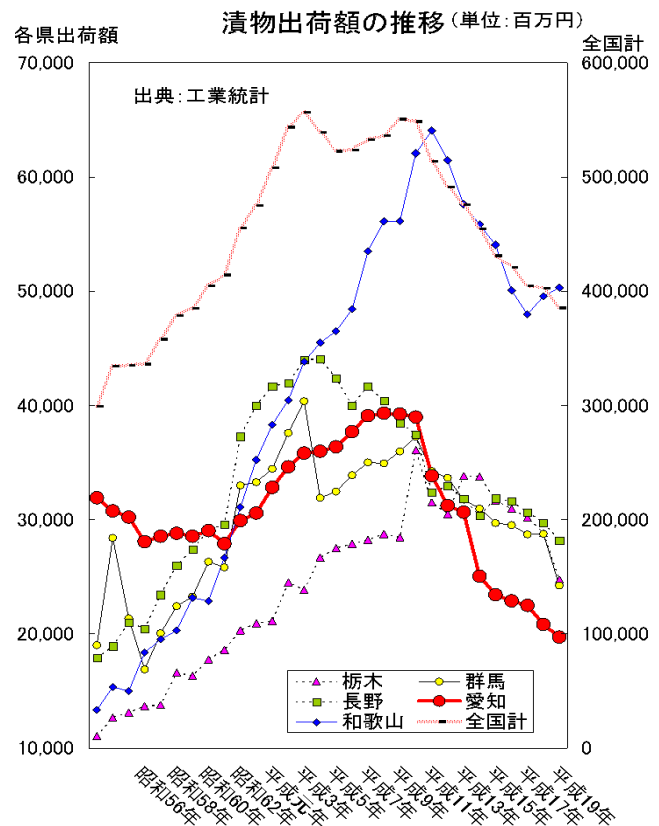
### 3 ごはんと漬物と健康

「日本人で良かったと思う食卓の一品」の第4位が漬物です（All About調べ2006）。ごはんを主食とする日本型食生活は、魚貝類、豆類、野菜類を多く摂取する栄養バランスの優れた長寿食として、世界から注目されています。一度食生活を振り返り、ごはんにおかず、漬物という日本型食生活の良さを見直してみましょう。

また、昔の漬物は保存のため10%以上もの塩分を含んでおり、高血圧症の人に敬遠されてきました。しかし、現在では塩分2～3%程度とサラダと比べても低塩となっているものもあります。さらに、漬物は、かさが減ることにより多くの野菜を摂取することができます。

今年も暑い日が続きます。夏ばてで食欲がないときには、漬物でお茶漬けはいかがでしょう。

注1) 藻塩：百人一首にも詠まれた焼いた海草を用いる製塩法の一つ



## 完熟ミニトマト 100%の「ミニトマトケチャップ」はいかがですか

ブランドミニトマト「旬桃輝（しゅんとき）」を生産するJAあいち海部よつえ生産部会（愛西市）は、今年4月から新商品「ミニトマトケチャップ」の販売を開始しました。

「旬桃輝」とは、同部会の7戸の農家が生産するミニトマトのブランド名で、すでにこのミニトマトを贅沢に絞ったジュース「ミニトマトの雫」は、ミニトマトの持つ本来の甘みと酸味があるさらりとした味わいで、地元の産直施設やネット販売で大変好評をいただいております。

さらに同部会では、このジュースの姉妹品の開発にも着手。試行錯誤の末、添加物・保存料を使わずに完熟ミニトマトのおいしさを凝縮した1ランク上のトマトケチャップを完成させました。



完熟ミニトマト「旬桃輝」  
生食でも大好評です

値段は1本（300ml）800円とちょっと高めですが、そのままパスタソースとしても使え、お子様だけでなく、大人にも喜ばれる逸品です。

また、「ミニトマトケチャップ」とミニトマトジュース「ミニトマトの雫」をセットにしたご贈答用BOXも現在、準備中です。

この夏の熱中症、夏バテ防止に、後味スッキリさわやかなミニトマトのジュースとミニトマトの冷製パスタは

いかがでしょうか。

ご購入は、JAあいち海部のグリーンセンター、道の駅「立田ふれあいの里」のほか、生産部会メンバーの「中野菜園」のホームページからご注文いただけます。

（問い合わせ先：JAあいち海部北部営農センター 電話 0567-23-3011）



生産者からのメッセージが添付された  
ジュースとケチャップの贈答セットを数量限定で販売予定

## 函館で平成22年度北海道地域秋冬野菜販売反省会開催

北海道は、国内の農業産出額において、他都府県を大きく引き離し、常にトップに位置しています。特に春から秋にかけては、全国の主要都市へ多くの農産物が出荷される最大の産地であることは言うまでもありません。

しかし、冷え込みが厳しくなり雪に閉ざされる秋冬期については、本県をはじめとする多くの県からの野菜が入荷する大消費地となっています。

今回、北海道地域における本県産野菜の販売反省会が函館市青果物地方卸売市場で開催されましたので、その概要を紹介します。

### 1 北海道地域秋冬野菜販売反省会

函館郊外に位置する茅部郡鹿部町で7月21日（木）に、JAあいち経済連と取引のある道内8社の卸売会社が集まり、平成22年度の北海道地域秋冬野菜販売反省会が開催されました。

本県から北海道へ秋冬期に出荷されている主な品目はキャベツ、白菜、ブロッコリーであり、その中で、大半を占めるキャベツを中心に販売経過と市場情勢について意見交換が行われ、次年度の販売に繋がるような活発な内容でした。

#### <販売経過>

10月からの本県産キャベツの販売は、8月の猛暑の影響で、定植・生育ともに遅れ、出荷もやや遅れてのスタートとなりました。併せて、孺恋をはじめとする夏秋産地の切り上げが早いこともあり高値相場で推移しました。12月に入ると高値反動もあり、量販店の積極的な売り込みがなされず、加工・業務関係においても外国産や他産地もので手当され、荷動きが良くなかったことから落ち着いた相場展開となりました。年明け1月は、冷え込みと干ばつの影響により小玉傾向となり出荷は少なめとなりました。価格は絶対量が少ない中、堅調に推移しました。2月になっても引き続き低温・干ばつの影響で小玉傾向は続きましたが、中旬以降、降雨と気温上昇により、急激に玉の肥大が進み、出荷量も伸びました。3月に入り春系の売れ行きが順調で、荷動きが活発化しました。しかし、中旬以降、震災の影響により量販店で積極的な特売が組めず、相場を下げる展開となりました。4月以降、生育遅れの荷物に加え、春系品種の作付け増により例年を上回る出荷となり、安値で推移しました。

#### <市場情勢・市場要望>

北海道では、上川地域を中心に、秋に収穫したキャベツを畑に並べて、冬の間、雪の中で貯蔵し、雪の中から掘り出して少しずつ出荷する越冬（貯蔵）キャベツがあります。厳寒期には、越冬キャベツの出荷があるため、「愛知の寒玉は売りづらい部分がある」、「春系中心の販売となり、寒玉については逆に春先以降から売れるようになる」とのことでした。

また、北海道へのキャベツ輸送については、従来のトラック輸送と比較し低コストで、環境に優しく、輸送時間も短いことなどから、JRコンテナによる輸送が近年、

増加しつつあります。そのような中、今シーズンは長雨等の影響で特にコンテナ便のキャンセルが多かったため、市場担当者から「前からあてにしている荷物なのでキャンセルを極力少なくしてほしい」「震災の影響で、コンテナ輸送がストップしたがそうした場合にトラックへの迅速な転換等をお願いしたい」との意見がありました。

品質面では、「全く問題ないのでコンスタントに荷物が欲しい。入荷が不安定だと商系主導の販売になりがちとなるため、荷物の規格内容・量などの情報を早く伝えて欲しい」と、情報交換を密にすることが望まれていました。

また、コンテナ輸送では、「詰め込まれた段ボール同士が鉄道の振動で擦れを生じ、箱内にその段ボール片がたまってしまうので、何か改善できる方策を考えていただきたい」との提案もありました。

#### <まとめ>

北海道地域では愛知県産品、特にキャベツは、秋冬期において、なくてはならない重要品目となっているため、各取引市場とも、系統の荷物を出来るだけ多く販売したいという意向でした。そのため市場と産地との情報交換をより密にしていくことが確認されました。

## 2 函館市青果物地方卸売市場の概要

函館市青果物地方卸売市場は、昭和50年から三十年余り中央卸売市場としてその役割を担い、函館のみならず、道南を販売エリアとして、消費者へ青果物を安定的に供給してきましたが、機構改革により、平成21年4月から地方卸売市場として再出発をしました。

道内ではかつて、札幌市、函館市、釧路市、室蘭市に中央卸売市場が開設されていましたが、現在では、札幌市中央卸売市場のみとなっています。

### 1) 主な沿革

- ・昭和50年：函館市中央卸売市場として業務開始
- ・平成11年：低温卸売市場設置
- ・平成21年：中央卸売市場から地方卸売市場への転換

### 2) 函館市青果物地方卸売市場における取扱状況



函館市青果物地方卸売市場野菜売場

## 主要産地別取扱高 (平成21年)

順位	産地名	数量(トン)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
1	北海道	29,980	70.7	4,928,244	63.0
2	茨城	3,194	7.5	478,743	6.1
3	千葉	1,254	3.0	212,448	2.7
4	愛知	1,188	2.8	260,207	3.3
5	埼玉	1,039	2.5	285,172	3.7
	その他	5,740	13.5	1,657,474	21.2
	合計	42,395	100.0	7,822,288	100.0

## 東日本大震災後の名古屋市中央卸売市場における 野菜の取扱実績について

東日本大震災発生後の3月中旬から7月上旬の名古屋市中央卸売市場（本場と北部市場の合計）の旬別の野菜取扱数量・販売単価及び、平成22年及び平成20年から平成22年の過去3年平均の同時期の取扱状況は、表-1、図-1、図-2のとおりです。

取扱数量は、過去3年平均と比較すると、野菜の放射能汚染の問題の発生により、4月上旬に大きく減少しました。4月中旬・下旬は3年平均を上回る取扱数量でしたが、5月以降は、3年平均を下回りました。

販売単価については、入荷数量が大幅に減少した4月上旬は3年平均を上回りましたが、4月中旬以降は低調となりました。平成22年の春は、天候不順により入荷数量が減少したため、販売単価は上昇しましたが、平成23年は5月上旬から6月中旬の入荷数量が3年平均を下回っているにも係わらず、販売単価は3年平均と同程度以下となりました。これは、震災による業務需要の低迷や消費意欲の減退が影響しているものと考えられます。6月下旬以降の販売単価は持ち直してきていますが、野菜の販売は依然として厳しい状況となっています。

表-1 名古屋市中央卸売市場の野菜の取扱実績

単位：トン、円

	3月中旬		3月下旬		4月上旬		4月中旬	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
平成23年	10,693	224	12,633	216	9,692	233	12,314	211
平成22年	12,361	220	11,492	219	11,393	247	10,456	264
前年比	87%	102%	110%	99%	85%	94%	118%	80%
過去3年平均	11,144	211	12,508	209	11,657	224	11,660	222
3年平均比	96%	106%	101%	104%	83%	104%	106%	95%

	4月下旬		5月上旬		5月中旬		5月下旬	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
平成23年	12,929	197	11,136	188	10,975	189	13,598	191
平成22年	11,177	267	10,706	236	12,463	197	10,788	205
前年比	116%	74%	104%	80%	88%	96%	126%	93%
過去3年平均	12,222	221	11,744	207	12,523	197	13,680	193
3年平均比	106%	90%	95%	90%	88%	96%	99%	99%

	6月上旬		6月中旬		6月下旬		7月上旬	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
平成23年	10,877	229	10,317	222	10,038	223	8,938	230
平成22年	10,853	244	10,872	219	10,622	207	10,402	221
前年比	100%	94%	95%	101%	95%	108%	86%	104%
過去3年平均	11,720	223	11,665	219	10,378	207	10,523	206
3年平均比	93%	103%	88%	102%	97%	108%	85%	112%

過去3年平均は、平成20年～22年の平均値

図 - 1 名古屋市中央卸売市場の野菜の取扱数量の推移 (単位：トン)

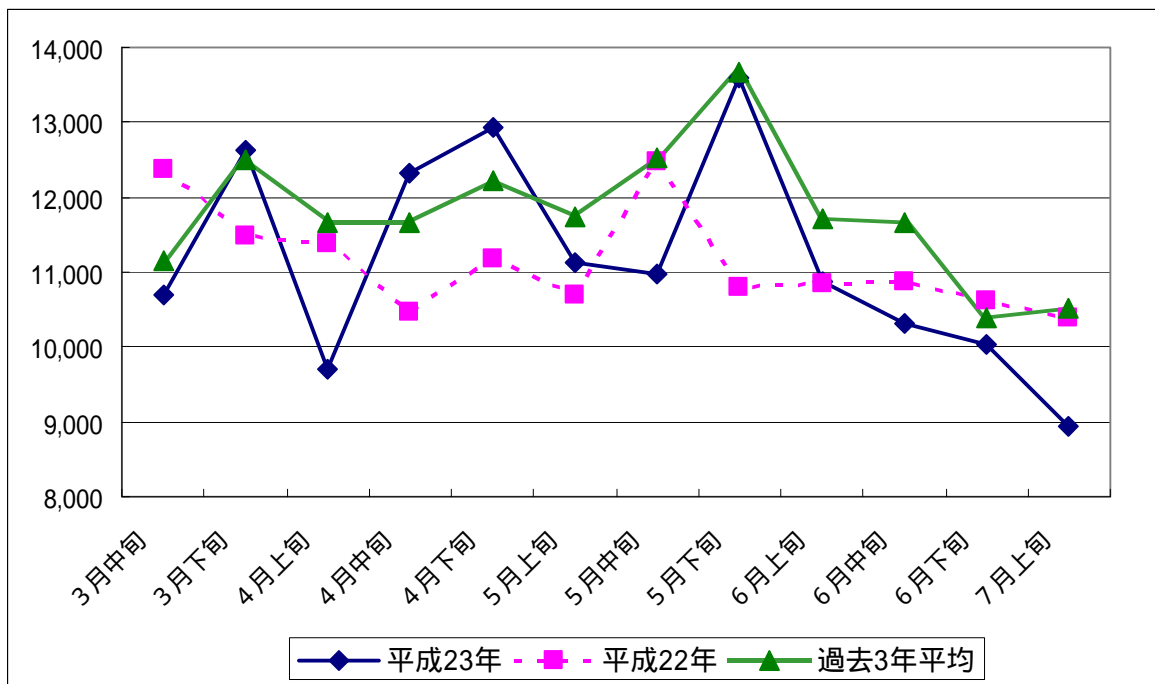
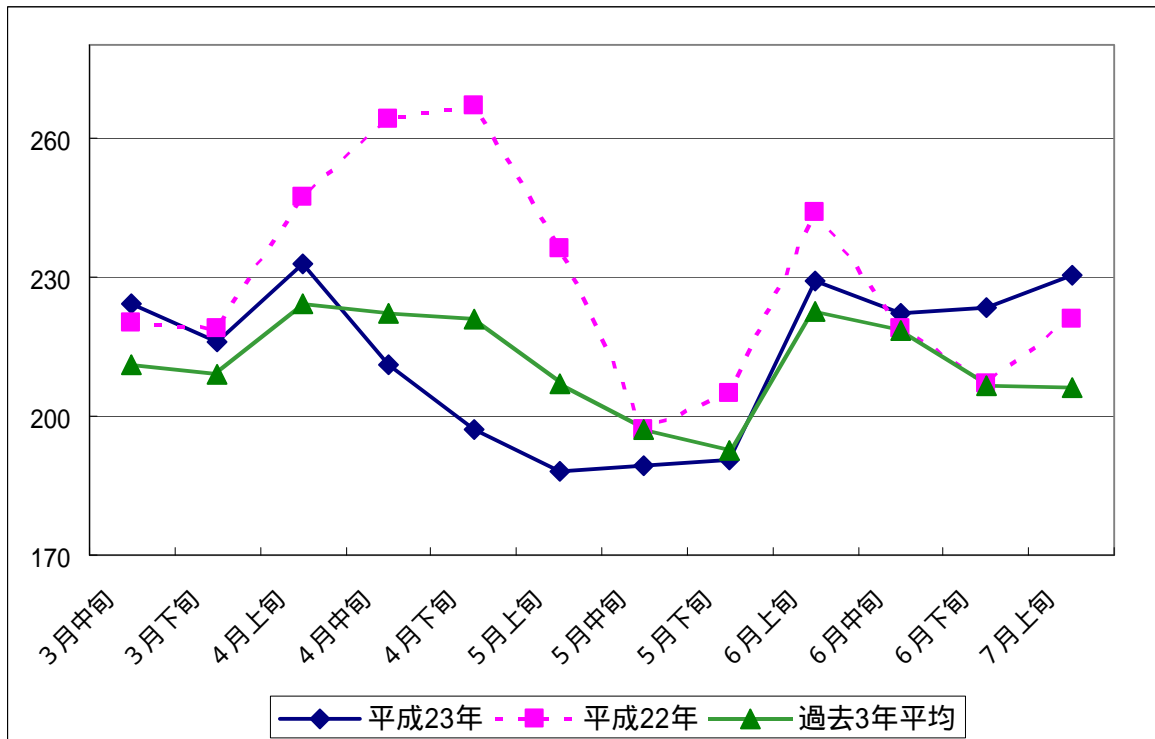


図 - 2 名古屋市中央卸売市場の野菜の販売単価の推移 (単位：円)



## フラワードリーム2011で「愛知の花」の魅力をPR

7月2日(土)～3日(日)、東京ビックサイトにおいて、フラワードリーム2011(主催:一般社団法人日本生花通信配達協会)が開催され、全国から花き産業に関わる関係者3万人以上の入場がありました。



JA 愛知経済連の展示・即売ブース

開催中、フラワーデザインを競う「2011 ジャパンカップ」、60歳を迎えて最も輝いている著名人を表彰する「第4回 HAPPY ROSE アワード」、そして最もユリの似合う女性を表彰する「第10回 Ms.Lily2011-2012」など各種のイベントが開催されました。

なかでも、ユリが最も似合う女性に送られる、第10回 Ms. Lily には、愛知県名古屋市出身で女優の武井 咲さんが最年少の17歳で受賞し、2日(土)には受賞式が行われました。

さて、JA あいち経済連は前回に引き続き、「花キューピットフラワーマーケット」コーナーに、なにわ花いちばと共同で出店し、ディスパッドマム、バラ、グロリオサの3品目の品種展示と即売をおこないました。

ディスパッドマムは元々、西欧で品種改良された満開咲きの輪ギクです。今回はオリジナル品種を含め、JA 愛知みなみの生産者が栽培したグリーンシャムロック、シルキーガール、ピーチブロッサム、クラシックココア、ブラックナイトの5品種を展示しました。また、「精興の誠」を満開咲きにしたフルブルームマム(白色)も昨年に引き続き展示しました。

ディスパッドマムは通常の生け込み展示のほか、テーブル上のガラス花器でのアレンジもおこないましたが、洋花風にも使えることから、関心を示して見ていく客も多くみられました。



ディスパッドのテーブル展示





**バラの品種展示**

グロリオーサはJA 愛知みなみ、JA 豊橋の生産者が生産した13種類の品種を展示しました。出品の半数以上は生産者のオリジナル品種であり、その旨を明記してPRしました。

出品したディスプレイ、バラ、グロリオーサ3品目の中でもグロリオーサは特に人気があり、中でも生産の少ない中・小輪系のオリジナル品種の注目度が高く、今後の販売などに関する質問が多く寄せられました。

品種展示の横では、ディスプレイ、バラ、グロリオーサの即売を並行しておこないましたが、全品1束200円という値頃な価格もあって、購入する客が多くみられ、順調な売れ行きとなりました。

特に、グロリオーサやバラは初日で売りきれするなど人気の高さが伺えました。今回の「ジャパンカップ」に出品された作品の中にもグロリオーサ、バラが多く使用されており、夏のフラワーアレンジにとって重要な花材であることがわかりました。

さて、今回の展示を通じて、花き関係者に品種の多彩さと奥深さに触れてもらい、本県にはこうした多様な品種を栽培したり、オリジナル育成できる技術、人材があることを伝えることができたものと考えます。

震災後、花きの販売は以前にも増して厳しい状況におかれています。今後こうした機会を通じて、愛知県産の花きの魅力を発信していく予定です。

また、JA ひまわりバラ部会は、昨年に引き続き参加し、壁面にスタンダード系28品種、テーブル上にスプレー系31品種のバラを展示しました。出品ごとに、品種名、生産者氏名と顔写真に加えて品種の特徴、生産者のメッセージが書かれたカードを添えましたが、これらのカードを読んで、品種ごとに異なる花

形、花色などの特徴をじっくり見比べる客が多くみられました。



**即売した花束**

# 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

## ○ 名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	1325	224 (17%)	841	845	長野 (63%) 山梨 (19%) 愛知 (17%)
23年見通し	1300	—	840	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>主な産地は東三河、大府、岡崎地域。春の低温と、梅雨入り、梅雨明けが早かったことで、一週間ほど生育に遅れが見られたが、その後の高温で今は3日ほど遅れている。高温続きにより果樹全体で小玉傾向のため、入荷量が減っている。また、着果のし過ぎで落下するものが多かった。価格は、高かった去年と同様の見込み。</p>			<p>大粒系で種なしのものが売れている。生産者が減っているなかで、今後消費拡大を目指すためには、同じ品種のものを作り続けるのではなく、新しい品種に目を向けることが大切である。また、消費宣伝事業には、市町村や県などの行政にバックアップをして欲しい。</p>		

## ○ 東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
22年実績	374	204 (54%)	648	666	和歌山 (33%) 静岡 (5%) 埼玉 (4%)
23年見通し	400	—	600	—	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウスものから露地ものへ切り替わる時期となる。愛知を中心に和歌山、静岡、福岡などから入荷する。愛知、和歌山の生育は天候不順の影響でやや遅れているが、盆明け後にはピークとなる見込み。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>			<p>夏から秋の果物として定着している。本県産地は、数量・品質ともにトップレベルにあり、量販店からも支持されている。このためトップブランドとして、一層の品質管理や等階級別の選果に努めてほしい。また、作柄や出荷情報について、今まで以上に迅速に市場に連絡して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月14日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	33,256	208	200	195	227	北海道 29%
	19年	32,946	208	191	210	220	長野 21%
	20年	34,757	184	203	193	159	群馬 10%
	21年	32,613	237	228	254	231	兵庫 8%
	22年	32,432	228	225	231	228	
	5カ年平均	33,201	213	-	-	-	
	23年見通し	33,800	194	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、長野、群馬中心。 昨年は野菜全体で平年に比べて入荷量が少なく、単価が高かったため、今年は、入荷量は前年をやや上回り、価格はかなり下回る見込み。							
だいこ	18年	2,316	98	143	87	72	北海道 66%
	19年	2,146	89	65	74	120	青森 19%
	20年	2,110	84	89	96	73	岐阜 19%
	21年	2,008	120	116	139	111	長野 3%
	22年	1,634	105	84	108	122	
	5カ年平均	2,043	99	101	100	98	
	23年見通し	2,000	90	80	90	100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道、青森、岐阜が中心。北海道は、春先の低温で出荷に遅れがあり、8月上旬から本格的な出荷が始まる。 暑い日が続くため、消費も全体的に低迷しており、販売が厳しい。入荷量は、前年を大幅に上回り、価格はかなり下がる見込み。							
にんじん	18年	2,335	155	227	165	115	北海道 95%
	19年	2,790	64	78	46	63	青森 3%
	20年	2,407	103	86	102	120	中国 2%
	21年	2,533	156	152	165	152	愛知 0%
	22年	1,740	216	218	207	220	
	5カ年平均	2,361	132	146	130	127	
	23年見通し	2,200	150	160	150	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は8月上旬に青森が始まり、その後北海道がピークとなる。5月に雨が多かったことで植え付けに7~10日ほど遅れがでており、入荷も少ないが、9月ごろに増えてくる。 入荷量は、少なかった前年を大幅に上回り、単価は大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

7月26日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	18年	123,710	246	285	240	217	北海道 20%
	19年	127,643	221	217	224	221	群馬 15%
	20年	127,676	210	190	200	216	長野 13%
	21年	122,784	254	246	269	248	青森 7%
	22年	122,709	245	234	250	249	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	124,904	235	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	123,000	245	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東高冷産地に加えて、東北、北海道からの入荷が中心となる。東北や関東産地は例年よりも早く梅雨明けし、遅れていたものも概ね平年並みに回復してきている。入荷量は前年並みで、価格についても前年並の見込み。							
だいこん	18年	10,249	93	121	91	72	北海道 67%
	19年	10,028	85	59	77	116	青森 21%
	20年	10,363	83	86	94	73	岩手 9%
	21年	9,667	112	112	124	104	群馬 2%
	22年	9,162	100	79	106	114	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	9,894	94	92	98	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	9,500	90	95	95	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、東北産地中心の入荷となる。北海道は曇天・降雨、高温など気候変動が激しく若干の遅れはあるものの概ね順調。青森についても順調な生育状況である。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	18年	5,687	182	241	189	134	北海道 82%
	19年	7,611	72	82	56	73	青森 8%
	20年	6,288	111	95	114	120	中国 8%
	21年	6,452	159	158	168	152	千葉 2%
	22年	5,488	206	203	200	213	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,305	141	150	140	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	6,000	130	120	140	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷が中心となる。北海道は初期生育は遅れ気味であったが現在は回復、盆明けからは潤沢な出荷が見込まれる。青森についても生育は順調である。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は200円を超える高値で推移した前年を大幅に下回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	18年	2,381	123	143	145	92%	
	19年	2,549	89	81	90	38%	
	20年	2,148	82	70	80	4%	
	21年	1,768	99	79	90		
	22年	1,704	101	79	102	122	
5ヵ年平均	2,110	99	92	102	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
23年見通し	1,700	90	70	90	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地はほとんどが長野。夏は漬物としての消費が主となり、お盆以降の需要が増えることに期待する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る。</p>					
キャベツ	18年	3,943	110	106	128	101	65%
	19年	4,436	112	114	108	114	23%
	20年	4,141	66	66	67	65	9%
	21年	3,887	93	73	96	110	
	22年	3,903	89	94	88	86	
5ヵ年平均	4,062	94	91	97	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
23年見通し	4,000	80	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は群馬、長野が中心。6月の干ばつで生育に遅れがみられたが、7月の雨で回復して、今後は順調に入荷される見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格はかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	18年	213	757	790	661	795	86%
	19年	248	680	694	514	805	6%
	20年	190	816	736	792	902	4%
	21年	239	724	662	811	714	1%
	22年	184	783	815	765	775	
5ヵ年平均	215	747	734	701	795	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
23年見通し	200	750	750	750	750		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心。播種は順調で、7月に高温が続いたことで8月上旬の出荷は少ないが、中旬以降は順調となる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほういさ	18年	5,110	137	169	180	88	長野 86%
	19年	6,039	80	74	81	84	群馬 6%
	20年	5,658	72	55	66	91	北海道 4%
	21年	5,250	91	68	83	117	茨城 3%
	22年	5,891	94	70	96	113	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,590	94	86	100	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		5,800	90	80	90	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き長野からの入荷が中心となる。長野は適度の降雨と高温傾向により遅れていたものも回復し、生育は良好で大玉傾向。群馬とともに安定的な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
キヤベツ	18年	14,597	105	99	126	98	群馬 77%
	19年	14,546	110	109	107	114	岩手 11%
	20年	15,246	62	60	65	60	北海道 6%
	21年	15,689	90	67	94	107	長野 3%
	22年	15,243	88	91	88	84	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,064	91	85	96	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		15,500	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬中心に岩手、北海道からの入荷が主力となる。群馬の生育は春先の低温等で出荷開始が1週間ほど遅れたもののその後は順調であるが、このところの高温で傷みが懸念される。岩手は干ばつで生育遅れがある。入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	18年	955	668	705	570	711	栃木 33%
	19年	890	654	570	591	791	群馬 25%
	20年	839	714	660	767	716	茨城 16%
	21年	966	632	594	666	639	岩手 12%
	22年	674	840	779	899	839	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	865	693	655	685	732	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		680	750	700	650	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東高冷地と岩手からの入荷となる。栃木、茨城は7月の高温の影響で一部で葉焼け等がみられる。岩手、群馬の生育は順調。 入荷量は少なかった前年並となり、価格は高かった前年をかなり下回るものの平年をかなり上回る見込み。</p>					

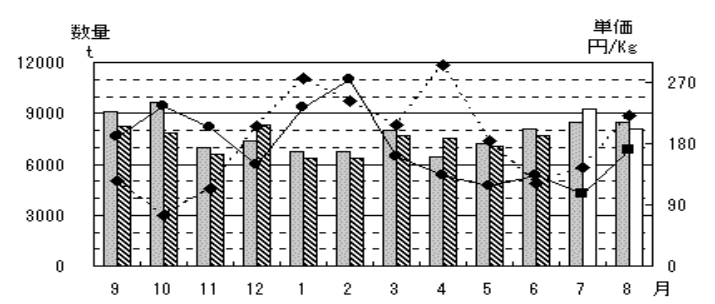
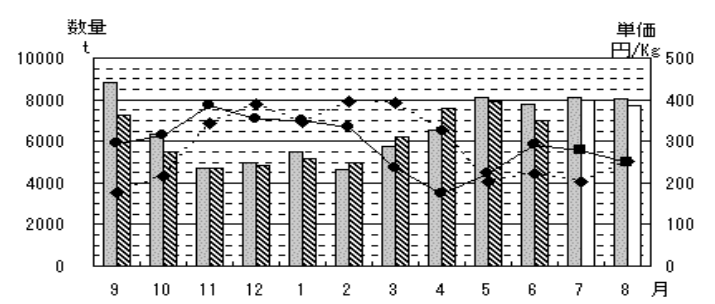
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	18年	830	450	456	481	424	北海道 25%	
	19年	876	465	472	511	433	愛知 18%	
	20年	888	402	353	418	431	大分 12%	
	21年	947	426	402	476	413	茨城 11%	
	22年	863	422	439	443	390		
	5カ年平均	881	433	423	466	418	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	900	420	420	450	400		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
		産地は北海道、大分、茨城、愛知が中心。北海道は例年に比べて1割入荷が多い。若干の遅れは見られるものの、生育は順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。						
しそ	18年	2,352	176	221	176	147	長野 98%	
	19年	2,224	233	241	251	211	群馬 1%	
	20年	2,180	143	121	145	160	愛知 0%	
	21年	2,000	233	182	279	243	茨城 0%	
	22年	2,045	221	211	224	226		
	5カ年平均	2,160	200	196	213	196	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	2,000	174	170	200	150		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
		産地はほとんど長野で、一部北海道。16玉中心で生育状況もよく、順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は大幅に下回る。						
きゅうり	18年	1,732	262	346	180	261	長野 47%	
	19年	1,725	267	227	237	328	北海道 15%	
	20年	2,316	221	166	233	276	山梨 10%	
	21年	1,443	310	284	322	323	山形 8%	
	22年	1,520	272	200	267	343		
	5カ年平均	1,747	262	239	244	303	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	23年見通し	1,550	240	220	240	330		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
		産地は長野、北海道、岩手を中心。夏秋産地では根のハリが悪い。8月は順調な出荷が見込まれるが、量の増減がある。面積は若干減少気味である。 入荷量は前年並みで、数量はかなり下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	18年	4,157	287	314	319	247	茨城 35%
	19年	4,246	294	265	391	261	青森 23%
	20年	4,428	274	221	288	306	秋田 7%
	21年	4,401	308	310	393	247	中国 6%
	22年	4,172	285	281	333	252	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	4,281	290	278	345	263	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		4,250	270	270	270		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		茨城、青森からの入荷が中心となる。茨城の生育は高温・干ばつ等の状況下ではあるがほぼ順調。青森は当初の生育遅延も回復し順調、盆前から本格的な出荷となる。入荷量は前年並みで、価格はやや前年を下回る見込み。					
							
しそ	18年	8,285	168	214	162	137	長野 85%
	19年	7,802	216	228	235	193	群馬 11%
	20年	8,245	141	120	139	161	岩手 2%
	21年	7,802	229	183	274	240	茨城 1%
	22年	8,442	221	210	220	231	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	8,115	194	191	205	192	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		8,100	170	120	180	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		長野からの入荷が中心となる。長野の生育は適度な降雨と高温傾向で遅れも回復し順調。群馬は暑さの影響で一部に芯腐れも散見されたが回復に向かっている。入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
							
きゅうり	18年	8,417	242	340	142	248	福島 46%
	19年	8,552	239	199	212	304	岩手 23%
	20年	7,750	237	168	176	408	秋田 10%
	21年	7,847	289	266	298	301	宮城 6%
	22年	8,052	252	186	253	308	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,124	251	233	215	312	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
23年見通し		7,700	250	220	270	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		東北産地からの入荷が中心。福島は初期の定植後に低温の影響でやや遅れがあったものの回復傾向、平年並みの出荷見込み。岩手は暑さと干ばつで出荷量は少なめ。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。					
							



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	18年	1,138	311	412	340	231	徳島 22%
	19年	1,222	262	335	324	177	愛知 22%
	20年	1,123	204	205	166	257	山梨 20%
	21年	1,092	269	266	270	268	群馬 11%
	22年	1,210	235	257	253	211	
す	5ヵ年平均	1,157	256	295	271	228	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,150	245	260	250	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は徳島、愛知、山梨中心。夏秋産地では全体的に遅れがでている。天候次第で状況も変わるが、8月がピークとなる。 入荷量は前年をやや下回り、価格やや上回る見込み。</p>					
ト マ ト	18年	1,892	322	307	302	351	岐阜 55%
	19年	1,971	273	267	231	314	北海道 23%
	20年	1,735	216	193	191	272	愛知 8%
	21年	1,647	342	193	312	419	青森 6%
	22年	1,585	344	290	322	466	
ト	5ヵ年平均	1,766	298	251	270	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,700	280	240	280	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜、北海道、愛知が中心。北海道の成育は順調。岐阜は高山、郡上などで7~10日生育の遅れが見られるが、回復してきている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
山 形 ト マ ト	18年	319	594	623	620	561	北海道 79%
	19年	344	474	529	440	456	長野 11%
	20年	310	411	360	349	520	山形 4%
	21年	337	570	546	528	626	
	22年	353	613	559	535	719	
山 形 ト マ ト	5ヵ年平均	333	534	525	496	578	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	330	570	550	525	625	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道、長野、愛知が中心。北海道はバラ売りが主で、他県はパック形態が主である。8月上旬から中旬にかけてどの産地もピークとなるが、猛暑のため、少し減る見込み。 入荷量は、前年をかなり下回り、価格も前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	18年	5,083	286	368	288	231	栃木 32%
	19年	5,622	237	291	318	159	群馬 23%
	20年	5,122	208	192	157	291	茨城 23%
	21年	5,025	271	277	282	257	埼玉 9%
	22年	5,451	219	245	219	181	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	5,261	244	274	253	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,200	230	260	200	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。栃木は6月の低温乾燥で樹勢が弱くやや不良で推移していたが盆前には回復。茨城、群馬、埼玉は、一部に害虫の発生があるものの概ね順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
マ マ ト ト	18年	9,865	288	317	240	306	青森 26%
	19年	10,206	239	229	204	287	福島 19%
	20年	9,232	227	214	188	295	北海道 11%
	21年	9,003	317	296	294	363	群馬 11%
	22年	8,832	336	287	306	410	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	9,428	280	268	245	330	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	9,000	300	330	290	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地からの入荷が中心となる。青森は病虫害の発生も少なく生育は順調であるが気温高で着色が早まり一部で小玉傾向となっている。他産地は総じて概ね順調な生育となっている。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	18年	1,019	583	608	579	566	北海道 29%
	19年	1,195	464	471	475	450	岩手 20%
	20年	1,194	405	384	372	460	福島 16%
	21年	1,064	580	556	587	597	青森 10%
	22年	1,038	623	551	607	702	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	1,102	526	509	518	549	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,000	600	630	590	580	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、福島に加え北海道からの入荷が増えてくる。各産地とも育苗期の遅れ、初夏の天候不順等により不作傾向。現況、少なめの出荷が続いているが、8月に入っても同様の傾向となる。 入荷量は少なかった前年並、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	574	344	567	373	237	岩手 50% 北海道 27% 青森 7% (愛知産比率 0%)
	19年	550	307	376	261	286	
	20年	549	244	222	245	259	
	21年	477	349	358	373	327	
	22年	496	334	346	315	339	
マン	5カ年平均	529	315	377	312	287	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	500	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は岩手、北海道が中心。岩手は内陸部が主となるため、震災の影響はあまりなかった。7月下旬から8月上旬にかけて出荷が増えるが、その後なり疲れのため、出荷量が減少する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。					
ばれいしょ	18年	2,660	124	138	128	110	北海道 64% 青森 32% 愛知 1% (愛知産比率 0%)
	19年	2,498	89	86	89	91	
	20年	2,860	95	90	98	95	
	21年	2,295	178	238	194	129	
	22年	2,431	136	120	134	149	
いしょ	5カ年平均	2,549	123	132	127	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,600	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は北海道、青森が中心。北海道はお盆前後から出荷が始まる。青森産のメイクインは順調で、L級が多い。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	17年	5,192	82	100	94	67	兵庫 56% 北海道 30% 愛知 6% 佐賀 3%
	18年	4,522	72	82	67	68	
	19年	5,430	67	58	65	74	
	20年	4,127	130	133	149	118	
	21年	4,638	95	102	95	90	
ねぎ	5カ年平均	4,782	88	93	92	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年	4,500	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		産地は兵庫、北海道が中心。兵庫では作付面積が5～6パーセントほど増えている。8月の中・下旬から北海道が始まる予定だが、低温により成育が遅れている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	2,132	350	642	325	200	岩手 49%
	19年	2,212	253	326	217	223	茨城 18%
	20年	2,139	203	179	207	219	青森 15%
	21年	2,027	320	330	359	284	福島 13%
	22年	2,009	310	319	311	301	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,104	286	360	282	244	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	2,000	300	310	340	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、茨城、青森からの入荷が中心。岩手は干ばつと高温の影響で尻腐れ果の発生もみられ出荷は少なめになる見込み。茨城は作付け増により出荷は若干増加する。入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ばいしょ	18年	5,442	128	141	124	119	北海道 62%
	19年	5,325	93	91	93	93	青森 13%
	20年	5,833	103	100	105	103	千葉 8%
	21年	5,619	179	226	200	136	茨城 7%
	22年	5,694	149	137	148	158	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	5,583	131	139	134	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	5,900	120	100	140	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心。北海道は春先の天候不順で作付けが2～3週間ほど遅れたが回復し、8月第2週からの出荷となり、盆明け以降に出荷は本格化。他産地は概ね順調な出荷となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	18年	10,230	93	102	95	85	佐賀 32%
	19年	10,332	79	81	81	75	兵庫 30%
	20年	11,236	78	71	80	83	北海道 27%
	21年	9,205	141	140	151	136	中国 6%
	22年	9,923	110	114	113	105	(愛知産比率 0%)
ね	5カ年平均	10,185	99	100	102	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	10,800	70	65	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀、兵庫、北海道からの入荷が中心。佐賀は春先の低温と6月の曇雨天で小玉が目立つ、兵庫は生育は順調でL級中心の出荷となる。北海道は一部で霰害をうけたほ場もあったが全体では豊作傾向。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	18年	14,281	345	359	344	328	長野 20%
	19年	13,436	356	353	344	370	フィリピン 16%
	20年	13,660	330	361	335	286	山形 12%
	21年	12,670	319	340	297	312	愛知 10%
	22年	11,902	346	340	358	343	
	5カ年平均	13,190	339	-	-	-	
	23年見通し	12,800	330	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、長野、山形、愛知中心。春先の低温と、梅雨入り、梅雨明けが早かったことで、全体的に小玉傾向である。 昨年は平年に比べて入荷量がとても少なかったため、今年は前年に比べて入荷量がかかなり上回り、価格はやや下回る見込み。</p>					
アールスメロン	18年	429	522	524	506	556	愛知 54%
	19年	396	558	529	550	666	静岡 32%
	20年	383	529	548	526	478	茨城 5%
	21年	334	474	460	473	525	青森 4%
	22年	341	503	469	569	490	
	5カ年平均	377	519	-	-	-	
	23年見通し	320	600	800	550	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、静岡が中心。愛知は3~5玉と良品が多いが、静岡は2玉が多い。8月上旬の出荷量が多く、需要はお盆がピークとなる見込み。 入荷量は、前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
すいか	18年	2,898	148	146	143	158	山形 37%
	19年	2,799	174	158	175	211	長野 31%
	20年	2,635	160	193	168	69	秋田 16%
	21年	2,390	119	117	116	131	青森 11%
	22年	2,594	174	177	161	187	
	5カ年平均	2,663	156	159	153	152	
	23年見通し	2,500	170	170	160	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は山形、長野、秋田が中心。出荷は7月下旬から8月上旬がピークとなる。石川産の遅れが出ていたものは、20日以降に出てくる見込み。 入荷量は、前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	18年	46,035	320	309	324	329	山形 19%
	19年	42,798	345	323	356	364	山梨 12%
	20年	44,671	312	337	328	265	フィリピン 10%
	21年	45,955	293	310	285	283	長野 8%
	22年	41,208	342	322	355	354	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	44,133	322	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	44,000	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか、なし、もも中心に入荷する。すいかは梅雨明け後の好天で生育が回復。ももは福島を中心に着果、生育ともに順調。なしは低温で開花遅れがあったが回復し平年並みの予想。やや小玉傾向だが、品質良好。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ア ー メ ロ ン	18年	865	520	515	537	508	静岡 35%
	19年	752	586	508	636	676	茨城 35%
	20年	770	491	601	510	362	青森 10%
	21年	715	459	476	442	456	愛知 8%
	22年	775	450	438	530	399	(愛知産比率 8%)
	5カ年平均	775	502	508	532	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	700	680	800	700	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、茨城中心に青森、愛知から入荷する。作付面積は静岡、茨城、愛知ともに減少している。各産地ともに、生育は回復傾向にあるもののやや小玉傾向である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回ると見込まれる。</p>					
す い か	18年	11,644	140	129	142	174	山形 49%
	19年	10,872	176	147	191	230	長野 14%
	20年	10,881	161	184	168	88	秋田 12%
	21年	10,813	120	115	115	138	神奈川 8%
	22年	10,709	178	169	175	211	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,984	155	149	158	168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	11,000	175	190	170	170	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>山形を中心に長野、秋田、神奈川などから入荷する。山形の生育は6月下旬以降の降雨で遅れたが、前年並みの出荷見込み。長野は概ね順調な生育・肥大にある。秋田は生育遅れがあるものの昨年を上回る予想。全体の入荷量は前年をわずかに上回り価格は平年並みと見込まれる。</p>					

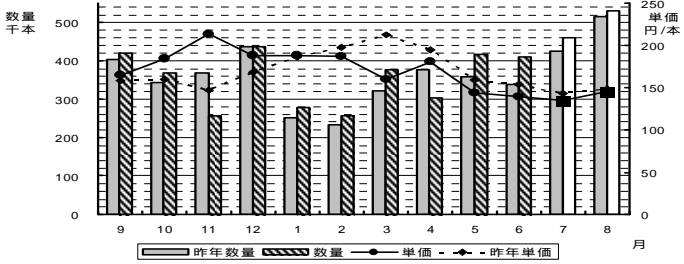
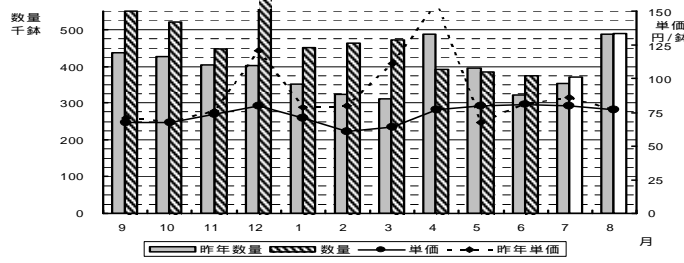
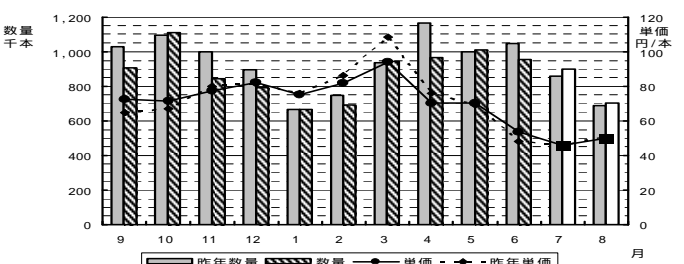
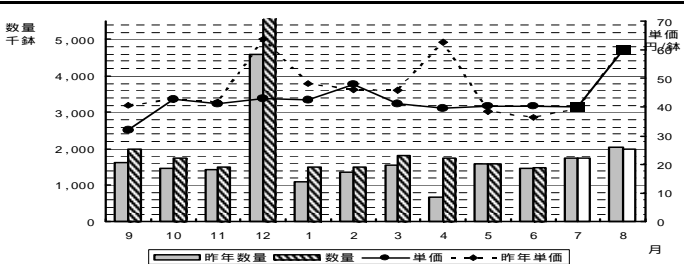
# 切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	3,940	63	
		20年	3,442	64	
		21年	3,395	53	
		22年	2,821	60	
		4ヶ年平均	3,399	60	
	23年見通し	3,100	60		
概要	<p>愛知、長野、三重から入荷。今年は梅雨が予定よりも早くあけ、気温はかなり高い。今まではやや遅れ傾向にあったが梅雨明けと同時に前進してきた。高冷地産ではやや遅れていたが、取り戻しつつある。暑すぎてやや遅れも見受けられるので今後の気温に注意していきたいところである。</p>				
小 ぎ	実 績	19年	3,677	33	
		20年	2,822	37	
		21年	2,625	36	
		22年	2,989	40	
		4ヶ年平均	3,028	36	
	23年見通し	3,000	37		
概要	<p>愛知、長野、埼玉、奈良等から入荷。かなり遅れは見られていたが、梅雨明け前から気温が上昇し、追い付いてきた。しかし、標高の高い産地については追いつくまでに至っていない。短観物が多く見受けられていたがそれについては徐々に減る見込み。ピークは8日あたりなので、最終的には良い販売になるのではないかとと思われる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,370	45	
		20年	1,105	43	
		21年	1,092	45	
		22年	1,294	43	
		4ヶ年平均	1,215	44	
	23年見通し	1,250	45		
概要	<p>長野を中心に北海道等から入荷。6、7月の高温によりスタンダードが特に前進しており、8月はやや少なくなる。スプレーは順調で8月も安定的に出荷される。価格は盆需要により、早い段階から堅調な動きを見せるが、後半はやや苦しい動きが予想される。</p>				
か す み 草	実 績	19年	119	101	
		20年	113	98	
		21年	92	117	
		22年	66	110	
		4ヶ年平均	98	105	
	23年見通し	80	110		
概要	<p>長野、北海道を中心に入荷。生育は順調であるが、入荷はあまり多くない。業務中心の販売で価格は安定。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	19年	592	139	 <p>数量千本</p> <p>250 単価円/本</p> <p>200</p> <p>150</p> <p>100</p> <p>50</p> <p>0</p> <p>9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 月</p> <p>□ 昨年数量 ■ 数量 ● 単価 ◆ 昨年単価</p>
		20年	492	142	
		21年	486	145	
		22年	514	149	
	4ヶ年平均		521	144	
	23年見通し		530	145	
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道から、L Aは新潟、埼玉中心、鉄砲は兵庫、愛媛、長野から入荷。盆需要で5日頃から動きが良い。今のところ入荷は順調であるが、価格は入荷量で変動。天候により前進出荷となると昨年同様苦しい展開となる。</p>				
洋 ら ん	実績	19年	524	73	 <p>数量千鉢</p> <p>150 単価円/鉢</p> <p>125</p> <p>100</p> <p>75</p> <p>50</p> <p>25</p> <p>0</p> <p>9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 月</p> <p>□ 昨年数量 ■ 数量 ● 単価 ◆ 昨年単価</p>
		20年	393	85	
		21年	441	75	
		22年	489	77	
	4ヶ年平均		462	77	
	23年見通し		490	77	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、輸入等から入荷。気温の上昇とともに花もちが良くないということで厳しい状況。カトレアは7月に前倒し傾向のため、8月は若干入荷は減少気味。輸入オンシは時期的に入荷減。デンファレは若干の入荷増はあるが、需要増に伴い保合市況となる。</p>				
ば ら	実績	19年	831	48	 <p>数量千本</p> <p>1,200 単価円/本</p> <p>1,000</p> <p>800</p> <p>600</p> <p>400</p> <p>200</p> <p>0</p> <p>9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 月</p> <p>□ 昨年数量 ■ 数量 ● 単価 ◆ 昨年単価</p>
		20年	644	53	
		21年	798	50	
		22年	686	51	
	4ヶ年平均		740	50	
	23年見通し		700	50	
概要	<p>愛知、長野、岐阜、青森、山形等から入荷。気温の上昇により減少し、品質差も広がる。高冷地産を中心に引き合いが強いが、下位等級は厳しい。</p>				
枝 も の	実績	19年	1,946	59	 <p>数量千鉢</p> <p>70 単価円/鉢</p> <p>50</p> <p>40</p> <p>30</p> <p>20</p> <p>10</p> <p>0</p> <p>9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 月</p> <p>□ 昨年数量 ■ 数量 ● 単価 ◆ 昨年単価</p>
		20年	1,695	57	
		21年	1,756	56	
		22年	2,039	61	
	4ヶ年平均		1,859	58	
	23年見通し		2,000	60	
概要	<p>静岡、長野、福岡などから入荷。8月前半は盆需要で引合いは強まる。特に法月、パンパス、シキミ、榊が強く、朝鮮槿の動きは良い。後半は稽古も休みとなり、引合いが弱くなるが、山取り品は堅調。</p>				



品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
スパティフィラム	実績	18年	20,504	196	
		19年	9,973	280	
		20年	13,254	208	
		21年	4,921	284	
		22年	7,156	268	
	5ヶ年平均		11,162	231	
	23年見通し		4,000	250	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。需要期でないので、単価は厳しそう。                      昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位三重県(73.0%)、2位愛知県(22.3%)、3位岐阜県(4.4%)となっている。</p>				
バラ(ミニバラ含む)	実績	18年	4,235	123	
		19年	6,383	79	
		20年	1,942	159	
		21年	3,973	177	
		22年	4,575	124	
	5ヶ年平均		4,222	123	
	23年見通し		4,000	110	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。需要期でないので、単価は厳しそう。                      昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位山口県(42.3%)、2位愛知県(25.8%)、3位三重県(21.7%)となっている。</p>				
ドラセナ類	実績	18年	33,310	685	
		19年	35,959	562	
		20年	23,724	625	
		21年	28,646	522	
		22年	19,019	650	
	5ヶ年平均		28,132	606	
	23年見通し		18,000	610	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。主体は定番のユッカ、コンシ、マッサンの4~5号鉢で、大鉢は少なそう。単価は厳しそう。                      昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(72.5%)、2位沖縄県(10.0%)、3位三重県(6.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
アンズリウム	実績	18年	14,988	1,074	
		19年	15,142	1,107	
		20年	14,124	973	
		21年	16,684	963	
		22年	11,418	1,331	
	5ヶ年平均		14,471	1,076	
	23年見通し		10,500	1,200	
概要	<p>入荷量は減少か。7月の最盛期を越え、需要も一段落。単価は、6号～大鉢サイズのもの            が特に厳しそう。            昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(97.9%)、2位三重県            (1.9%)、3位愛媛県(0.1%)となっている。</p>				
オンシジウム	実績	18年	5,530	865	
		19年	5,340	957	
		20年	4,000	820	
		21年	5,963	779	
		22年	3,607	842	
	5ヶ年平均		4,888	853	
	23年見通し		3,400	800	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。春先より続く天候不順で開花遅れなど影響。単価は厳しそ            う。            昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(49.4%)、2位長            崎県(21.5%)、3位山梨県(18.0%)となっている。</p>				
シャコバサテン	実績	18年	13,171	408	
		19年	7,163	429	
		20年	4,464	526	
		21年	13,643	373	
		22年	8,456	345	
	5ヶ年平均		9,379	401	
	23年見通し		8,000	300	
概要	<p>入荷量は減少か。3.5号～5号鉢の小鉢が主体で、単価は厳しそう。            昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉県(65.5%)、2位愛知県            (21.4%)、3位茨城県(12.5%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2011年)

## 1 輸入実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	63,040	110.6	5,446,535	92.1	86	84.8	410,617	125	35,688,213	110	87	87.4
トマト	168	153.6	50,168	139.2	300	86.8	809	54	259,680	44	321	81.2
たまねぎ	23,341	119.5	889,342	83.3	38	73.2	174,603	134	8,271,805	126	47	94.2
にんにく	1,314	103.2	320,544	152.6	244	156.7	6,819	91	1,606,905	141	236	154.4
ねぎ	3,848	111.1	283,039	82.9	74	76.0	21,189	116	1,768,023	106	83	91.5
ブロッコリー	2,968	86.6	436,355	64.6	147	67.5	12,647	98	2,166,333	89	171	91.1
結球キャベツ	1,968	66.2	62,346	46.7	32	76.3	18,052	170	605,191	144	34	84.7
にんじん・かぶ	7,772	121.6	352,235	96.5	45	82.0	38,113	224	1,861,174	203	49	90.6
ごぼう	2,884	117.4	267,007	178.7	93	169.3	17,300	128	1,731,578	234	100	183.0
えんどう	155	86.4	38,117	66.9	246	80.2	847	80	227,689	79	269	98.9
アスパラガス	597	111.6	336,094	107.6	563	113.6	7,171	98	3,396,456	98	474	100.3
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
しいたけ	248	118.2	65,378	109.8	264	107.0	2,552	87	657,078	90	257	103.2
かぼちゃ	12,520	113.0	927,962	98.6	74	113.0	83,319	105	5,186,872	99	62	93.6
果実(生鮮・乾燥)	172,239	98.1	25,261,373	94.6	147	123.0	805,079	100	91,745,295	97	114	97.4
バナナ	98,599	98.9	7,632,793	99.9	77	100.2	448,777	98	29,744,501	93	66	95.5
パイナップル	13,434	108.5	790,450	109.2	59	97.9	59,396	109	3,417,994	104	58	95.3
レモン	4,504	105.0	509,880	84.4	113	79.7	18,876	97	2,063,179	78	109	80.1
オレンジ	9,055	99.0	875,867	96.2	97	98.1	52,828	113	4,998,296	111	95	98.3
グレープフルーツ	4,334	74.5	394,298	62.8	91	86.1	82,959	86	7,708,307	75	93	87.9
メロン	4,039	85.7	420,449	79.9	104	73.1	16,423	114	1,736,255	107	106	94.0
ぶどう	2,386	171.7	344,394	170.5	144	110.1	7,877	114	1,301,296	123	165	107.4
キウイ	14,053	85.1	4,403,656	80.2	313	97.7	27,260	106	8,548,125	101	314	95.6
いちご	23	177.4	17,868	167.7	777	-	38	111	29,709	122	781	110.5
切花(生鮮・乾燥)	2,293	93.1	1,544,554	80.7	673	82.1	15,743	96	11,245,498	93	714	97.0
鳥獣肉類	155,330	110.2	68,122,180	109.6	439	102.7	752,191	109	328,697,517	113	437	102.9
牛肉(くず肉含む)	40,210	111.2	17,223,720	109.5	428	100.4	204,661	111	85,689,098	112	419	101.3
豚肉(くず肉含む)	64,173	99.1	33,681,870	99.1	525	100.1	323,469	106	169,531,670	106	524	100.0
鶏肉	42,698	129.5	12,057,183	153.1	282	127.1	185,799	113	49,135,689	138	264	122.4
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	159,611	107.7	83,282,718	109.4	522	103.1	704,188	98	379,058,364	108	538	110.0
まぐろ類	3,706	20.7	453,599	3.0	122	16.5	70,246	81	61,367,500	96	874	118.6
さば・さんま・あじ・いわし	4,094	88.8	636,982	85.4	156	105.3	33,721	86	5,703,124	93	169	108.0

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	38	13.7	41,164	22.3	1,083	318.3	10,614	77	3,416,943	83	322	107.4
うんしゅうみかん	2	38.4	2,901	40.7	1,451	118.6	145	64	93,397	97	644	152.4
りんご	26	11.1	11,316	14.2	435	141.4	10,112	77	2,979,484	82	295	106.8
なし	-	-	-	-	-	-	21	49	8,750	48	412	97.0
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	104,703	51.1	-	-	-	-	871,275	82	-	-
緑茶	217	135.7	502,033	153.3	2,314	123.2	934	113	1,832,869	116	1,963	103.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	21年平均	100.3	103.3	98.9	105.6	104.4
	23年 1月	99.4	112.4	113.0	104.0	103.0
	2月	99.3	116.3	107.4	103.7	100.9
	3月	99.6	111.6	102.3	104.0	102.0
	4月	99.9	110.1	89.5	104.4	102.3
	5月	100.0	101.6	100.6	103.6	101.7
愛 知 県	21年平均	100.9	100.6	100.0	102.4	103.6
	23年 1月	99.0	104.6	115.8	102.5	97.9
	2月	98.9	106.8	107.9	100.5	95.1
	3月	99.2	99.3	100.9	101.4	98.4
	4月	99.5	103.0	88.8	104.7	100.9
	5月	99.5	97.5	97.0	103.1	99.6

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
21年平均	21年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 1月	102.2	85.6	116.4	134.4	99.1
	2月	105.1	85.6	126.4	134.1	102.3
	3月	100.3	85.6	113.0	103.7	103.3
	4月	95.6	86.0	92.0	81.1	103.4
	5月	92.6	86.4	88.2	91.3	103.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
21年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 1月	1,835	168	140	736	466	328	120	302	316	644	575	178	471
2月	1,827	203	163	722	644	321	136	305	316	583	556	165	494
3月	1,806	193	181	635	397	361	151	333	292	485	525	160	476
4月	1,777	162	266	577	409	484	158	489	287	386	511	156	467
5月	1,809	125	200	595	279	430	127	400	267	398	499	164	516
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
21年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 1月	672	328	392	163	214	822	540	148	151	296	214	861	414
2月	699	319	382	151	217	842	544	145	160	294	211	744	396
3月	731	268	354	136	222	785	536	151	166	293	204	802	412
4月	-	307	378	119	230	878	552	145	156	302	222	851	405
5月	-	283	344	130	227	795	551	168	156	307	218	855	407

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 458  
平成23年8月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417